

エコアクション21
環境経営レポート



四万十川中流域での茅生(かよう)大橋の景観
対象期間：令和 3年 6月～令和 4年 5月

有 限 会 社 小 出 建 設

高知県四万十市西土佐岩間256番地

発 行：令和 4年 6月 21日

〒787-1321

高知県四万十市西土佐岩間256番地

TEL 0880-54-1154

FAX 0880-54-1537

E-mail koidekensetsu@mb.gallery.ne.jp

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 実施体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標の実績
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
10. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

【事業者名及び代表者名】

有限会社 小出建設

代表取締役 小出昭彦

【所在地】

事務所 〒787-1321 高知県四万十市西土佐岩間256番地

倉庫 〒787-1321 高知県四万十市西土佐岩間256番地

車庫 〒787-1321 高知県四万十市西土佐岩間後口山236番地

【環境管理責任者及び担当者連絡先】

環境管理責任者：小出昭彦 TEL : 0880-54-1154

連絡先担当者：中平明美 FAX : 0880-54-1537

koidekensetsu@mb.gallery.ne.jp

【事業内容】

建設業(土木工事業)

建設業許可

許可番号：高知県知事許可(特-2) 第004552号

許可年月日：令和2年7月31日

建設許可業種：(特定建設業)土木工事業・とび・土工工事業
ほ装工事業・水道施設工事業・解体工事業

(一般建設業)管工事業・造園工事業

一般貨物自動車運送事業

許可番号：四運自貨 第240号

【事業の規模】

設立年月日：昭和55年12月24日

資本金：2,000万円

完成工事高：12,183万円(令和3年6月～令和4年5月)

従業員数：8名(令和3年6月現在)

事務所敷地面積：228.52m²

事務所延べ床面積：253.9m²

車庫敷地面積：369.47m²

倉庫敷地面積：374.07m²

【事業の規模】

事業年度：6月～5月

2. 対象範囲、認証登録範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】

全組織、全活動、全従業員を対象とする

【レポートの対象期間】

令和 3年 6月 ~ 令和 4年 5月

【環境活動レポートの発行日】

令和 4年 6月 21日

【次回環境活動レポートの発行予定日】

令和 5年 7月 20日 予定

【作成責任者】

環境管理責任者 小出昭彦

3. 環境経営方針

環境経営理念

私たち有限会社小出建設社員、従業員一同は、高知県西土佐地域を対象に社会インフラとしての土木工事等の建設工事において、環境保全活動、ボランティア活動にも積極的に参加し、清流四万十川を守れるよう環境負荷を低減し、継続的改善による環境経営を推進し環境保全を意識した事業活動を実施します。

環境経営方針

- ①全社員、全従業員に環境方針について教育を行い、本内容を周知徹底させ環境保全活動に取り組みます。
- ②建設機械、車輌等の燃料使用量の削減、及び事務所における電力使用量の削減により、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
- ③環境配慮型工法を推進します。又環境にやさしい資材の使用を促進します。
- ④事務所・現場における廃棄物排出量削減及びリサイクルに努めます。
- ⑤事務所・倉庫での水使用量の削減に努めます。
- ⑥事務用品はグリーン購入を積極的に進めます。
- ⑦地域のボランティア、イベント等に自主的、積極的に参加、協力します。
- ⑧環境関連法規等を遵守します。
- ⑨高知県四万十川条例を遵守した工法に努めます。
- ⑩環境活動レポート等は外部公表します。
- ⑪ICT化による設計、工事の効率的運用
- ⑫社会インフラ整備への貢献

制定日 平成 25年 3月 1日

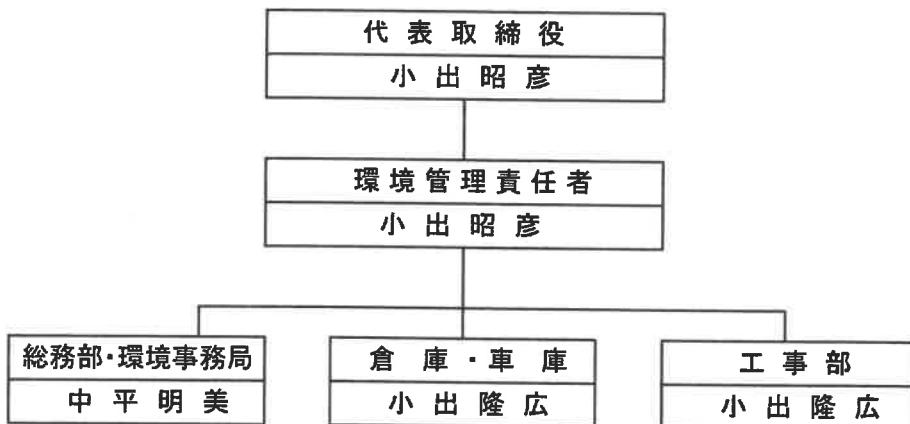
改定日 平成 28年12月 20日

改定日 平成 30年 6月 4日

有限会社 小出建設

代表取締役 小出昭彦

4. 実施体制



役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、費用、時間、技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員へ周知徹底 環境経営目標、環境経営計画、環境管理実施体制の承認 全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境活動の取組結果を代表者に報告 環境への負荷及び、環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画、環境管理実施体制の確認 環境経営計画の実績と、レポート作成
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境関連法規等の取りまとめ表を作成 環境経営目標、環境経営計画、環境管理実施体制の原案作成 自部門における環境経営方針の周知徹底 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門の問題点の発見・是正・予防処置
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を認識 自主的・積極的に環境活動への参加をする

5. 環境経営目標

(1) 単年度目標

項 目	単位	基 準 値		目 標	
		令和1年6月～ 令和2年5月	令和3年6月～ 令和4年5月		
CO ₂ 排出量	軽油	L	22,920	22,851	-0.30%
	ガソリン	L	5,721	5,719	-0.30%
	電力使用量	kWh	5,175	5,173	-0.30%
		kg-CO ₂	77,325	77,093	-0.30%
CO ₂ 排出原単位	kg-CO ₂		6,483	6,481	-0.30%
水使用量	m ³		26	基準値以下	
一般廃棄物排出量	t		0.06	基準値以下	
産業廃棄物再資源化率	%		57	58	
環境配慮型工法及び資材	件		全	全	
社会貢献活動	回		10回	基準値以上	
ICT化の活用	件		1件	基準値以上	
社会インフラ事業	件		2件	基準値以上	

- ・単年度とは令和3年度とする
- ・電力のCO₂排出係数は四国電力実排出係数0.528kg-CO₂/kWhを使用
- ・CO₂排出原単位はCO₂÷売上げ(万円)
- ・一般廃棄物排出量は秤で重さの計測をする。
- ・産業廃棄物再資源化率(環境目標100%)
- ・環境配慮型工法及び資材は、全受注工事とする。
- ・社会貢献活動はボランティア活動回数にて算出をする
- ・ICT化の活用は活用件数にて算出をする。
- ・社会インフラ事業(防災、老朽インフラ)事業は受注件数とする。

(1) 中長期目標

項 目	単位	基 準 値		令和3年6月～ 令和4年5月		令和4年6月～ 令和5年5月		令和5年6月～ 令和6年5月	
		令和1年6月～ 令和2年5月	目 標		目 標		目 標		目 標
CO ₂ 排出量	軽油	L	22,920	22,851	-0.3%	22,782	-0.6%	22,713	-0.9%
	ガソリン	L	5,721	5,719	-0.3%	5,686	-0.6%	5,669	-0.9%
	電力使用量	kWh	5,175	5,173	-0.3%	5,143	-0.6%	5,128	-0.9%
		kg-CO ₂	77,325	77,093	-0.3%	76,862	-0.6%	76,629	-0.9%
CO ₂ 排出原単位	kg-CO ₂		6,483	6,481	-0.3%	6,444	-0.6%	6,424	-0.9%
水使用量	m ³		26	基準値以下		基準値以下		基準値以下	
一般廃棄物排出量	t		0.06	基準値以下		基準値以下		基準値以下	
産業廃棄物再資源化率	%		57	58		59		60	
環境配慮型工法及び資材	件		全	全		全		全	
社会貢献活動	回		10回	基準値以上		基準値以上		基準値以上	
ICT化の活用	件		1件	基準値以上		基準値以上		基準値以上	
社会インフラ事業	件		2件	基準値以上		基準値以上		基準値以上	

6. 環境経営計画

期間：令和3年6月～令和4年5月

項目	取組内容	担当者
現場における重機・車両の使用によるCO2排出量削減	・エコドライブを実行する ・重機・車両の始業前点検	小出昭彦
	・重機の自主点検整備を実施する ・重機に負荷のかからない省エネ運転をする	現場責任者
電気使用におけるCO2の排出量削減	・室内の適正温度の維持(冷房28°C、暖房20°C) ・ブラインド等を活用し、日射の調整をする ・パソコン・コピー機エコモードの設定 ・省エネ性能の高い電気製品の購入	中平明美
水使用量削減 (事務所)	・漏水がないかの確認 ・洗いものはまとめて洗う	中平明美
一般廃棄物排出量の削減	・ダンボール・カタログ等のリサイクル ・ミスプリントの削減(PC設定、原稿の確認) ・コピー用紙の両面使用後、リサイクルへの分別	中平明美
産業廃棄物再資源化率	・分別ボックスを設置し、再生資源化の推進 ・マニフェストによる管理の徹底	小出昭彦 現場責任者
環境配慮型工法及び資材	・全工事における県内産資材の使用 ・高知県四万十川条例を遵守し、水質汚濁防止等 環境に配慮しながら工事を行う	小出昭彦
社会貢献活動	・ロードボランティア活動の実施 ・四万十市街地、四万十川一斉清掃への参加	小出昭彦
ICT化の活用	・ICT工事に活用出来る機器の導入 ・ICT施工工事の受注	小出昭彦
社会インフラ事業	・修繕工事等、役所への提案 ・防災工事の積極的な受注	小出昭彦

7. 環境経営目標の実績

項目	単位	目標	実績	評価	
		令和3年6月～令和4年5月	令和3年6月～令和4年5月	増減	達成率
CO ₂ 排出量	軽油	L	22,851	30,147	+7,296 75.8%
	ガソリン	L	5,719	4,932	-787 115.9%
	電力使用量	kWh	5,173	5,473	+300 94.5%
		kg-CO ₂	77,093	94,740	+17,647 81.3%
CO ₂ 排出原単位	kg-CO ₂		6,481	7,776	+1,295 83.3%
水使用量	m ³		26	25	-1 104.0%
一般廃棄物排出量	t		0.06	0.04	-0.02 150.0%
産業廃棄物再資源化率	%		58	46	-12 79.3%
環境配慮型工法及び資材	件	全	全	±0	100%
社会貢献活動	回	10回	10回	±0	100%
ICT化の活用	件	1件	2件	+1	150%
社会インフラ事業	件	2件	3件	+1	150%

- ・電力のCO₂排出係数は四国電力実排出係数0.528kg-CO₂/kWhを使用
- ・CO₂排出原単位はCO₂÷売上げ(万円)
- ・一般廃棄物排出量は秤で重さの計測をする。
- ・産業廃棄物再資源化率(環境目標58%)
- ・社会貢献活動はボランティア活動回数にて算出をする
- ・ICT化の活用は活用件数にて算出をする。
- ・社会インフラ事業(防災、老朽インフラ)事業は受注件数とする。

・環境経営目標未達成項目に対するコメント

項目	コメント
CO ₂ 排出量	道路改良工事等、バックホウでの掘削作業、ダンプでの運搬作業が多く、軽油の使用量が増加した。
産業廃棄物再資源化率	道路改良工事に係る、木の伐採作業より出た木の根、枝葉の排出量の増加により産業廃棄物再生資源化率の未達成となった。

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1)環境経営計画の取組とその評価

期間： 令和3年 6月 ~ 令和4年 5月

項目	担当者	取組内容	取組結果	見直し
現場における重機・車輛の使用によるCO2排出量削減	小出昭彦 現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブを実行する ・重機・車輛の始業前点検 ・重機の自主点検整備を実施する ・重機に負荷のかからない省エネ運転をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・急発進、急加速の無いよう声掛けしている ・良く取り組めている ・取り組めている ・取り組めている 	現場との往来を少なくする為に、必要な物の準備をし燃料削減に努める。取組めているものは、今後も継続していく。
電気使用におけるCO2の排出量削減	中平明美	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の適正温度の維持(冷房28°C、暖房20°C) ・ブラインド等を活用し、日射の調整をする ・パソコン・コピー機エコモードの設定 ・省エネ性能の高い電気製品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・温度調整をしながら取り組めている ・取り組めている ・取り組めている ・取り組めている 	ブラインドでの日射の調整、パソコン機器のエコモードの設定等、今後も継続していく。
水使用量削減 (事務所)	中平明美	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水がないかの確認 ・洗いものはまとめて洗う 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に確認している ・取り組めている 	今後も継続していく。
一般廃棄物排出量の削減	中平明美	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンボール・カタログ等のリサイクル ・ミスプリントの削減(PC設定、原稿の確認) ・コピー用紙の両面使用後、リサイクルへの分別 	<ul style="list-style-type: none"> ・良く取り組めている ・取り組めている ・分別ボックスを置く事で、意識して分別出来ている 	エコアクションへの取組が浸透し、リサイクル率が増えてきている。他の取り組みも継続していく。
産業廃棄物再資源化率	小出昭彦 現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・分別ボックスを設置し、再生資源化の推進 ・マニフェストによる管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別ボックスを置く事で、意識して分別出来ている ・良く取り組めている 	分別ボックスの設置により、きちんと分別出来ているので今後も徹底していく。
環境配慮型工法及び資材	小出昭彦	<ul style="list-style-type: none"> ・全工事における県内産資材の使用 ・高知県四万十川条例を遵守し、水質汚濁防止等環境に配慮しながら工事を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・良く取り組めている ・河川工事においては、漁協とも話し合い済り等に配慮して工事を行えている 	今後も、県内産品の使用を継続し、高知県四万十川条例を遵守し環境に配慮しながら工事を施工する。
社会貢献活動	小出昭彦	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードボランティア活動の実施 ・四万十市街地、四万十川一斎清掃への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組めている ・今年度もコロナにより中止となり参加できていない 	今後も、ボランティア活動、地域イベントへ積極的に参加をする。
ICT化の活用	小出昭彦	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT工事に活用出来る機器の導入 ・ICT施工工事の受注 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組めている ・良く取り組めている 	今後も1件でも多くの工事にICTを活用していく。
社会インフラ事業	小出昭彦	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕工事等、役所への提案 ・防災工事の積極的な受注 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組めている ・取り組めている 	今後も修繕箇所、老朽箇所があれば、役所に提言していく。

(2)次年度の取組内容

※次年度も、環境経営計画の取組内容を継続して実施するものとする。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の遵守状況

法規名	内容	実施内容	遵守状況		
			確認	確認者	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の委託処理・リサイクル	委託先の許可の確認	遵守	小出	○
		委託契約の締結・契約書の保存	遵守	小出	○
		マニフェストの交付	遵守	小出	○
		マニフェストの回収・照合	遵守	中平	○
		再生資源利用計画書・実施書の作成 マニフェスト交付状況報告書	遵守	中平	○
	一般廃棄物の分別	四万十市指定のごみ袋・分別方法・収集日	遵守	中平	○
建設リサイクル法	分別解体及び、再資源化の実施義務	対象工事となる建設工事の届出 (工事着手の7日前までに、都道府県知事に届出等)	対象工事なし	—	—
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検	1回/3月の点検・点検記録簿の作成	遵守	小出	○
排出ガス対策型建設機械普及促進	特定の建設作業	排出ガス対策型機械の使用	遵守	小出	○
労働安全衛生法	監督官庁への届出等	各種作業の有資格者の確認	遵守	小出	○
消防法	地下タンクの点検	危険物の貯蔵・取り扱い管理記録	遵守	中平	○
高知県四万十川条例	四万十川の保全及び流域の生態系景観の保全	各現場で対応	遵守	小出	○
自動車運送業法	輸送の安全の確保	運行管理記録の作成・確認	遵守	中平	○
騒音規制法	監督官庁への届出等	各種作業の有資格者の確認	対象工事なし	—	—
振動規制法	監督官庁への届出等	各種作業の有資格者の確認	対象工事なし	—	—

(2)環境関連法規等の違反、訴訟の有無

令和3年6月～令和4年5月まで、環境関連法規等への違反・訴訟及び外部からの苦情はありませんでした。

又、過去3年間にわたって違反や訴訟もありません。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 環境経営目標達成状況について

① 化石燃料使用削減

② 電力使用削減

工事の受注内容により現場での電気の使用量の増加となってはいるが、不使用の消灯、省エネモードの設定等、出来る事を継続していく。

③ 二酸化炭素排出量削減

重機、車両の始業前点検、重機の自主点検整備は継続して行い、

燃料を無駄にしない運転を考え実行する。

④ 一般廃棄物排出量削減

一般廃棄物で、リサイクルボックスの設置により分別の意識が高まっているので今後も徹底していく。

⑤ 産業廃棄物再資源化率

工事の受注内容により目標達成が難しい項目ではあるが、現在取り組めている産業廃棄物の分別処理、マニフェスト伝票による管理は今後も徹底していく。

⑥ 環境配慮型工法及び資材

今後も、1件でも多くの県内産品を使用し、河川汚濁防止に努め環境に配慮した工事を行う。

⑦ 社会貢献活動

ロードボランティア、地域イベント等への積極的な参加は今後も継続させて行う。

⑧ ICT化の活用

ICT機器の導入と活用を今後も継続させ、1件でも多くの工事で活用して行きたい。

⑨ 社会インフラ事業

今後も、役所と連携し危険箇所等の提言をし、防災工事の積極的な受注に努める。

(2) 環境経営活動取組の実施について

省エネに対しての意識が高まり、取り組めている。現場においては、今後も地域、環境に配慮した工事を推進していく。

(3) 環境関連法規等の遵守について

遵守出来た。

(4) 変更の必要性

なし

(5) 総合評価及び見直し指示

- CO₂排出量の軽油、電気の使用量の増加、産業廃棄物の再生資源率は未達成ではあるが、少しでも削減できるよう個々が考え取り組んで行きたい。
- 今回達成出来た項目も、今後も削減を意識しながら取り組んで行く。、